

令和7年度 長崎県立五島南高等学校 学校評価年度末アンケート集計結果（教職員）

4：よく当てはまる	(達成状況 70～100%)
3：やや当てはまる	(達成状況 50～69%)
2：あまり当てはまらない	(達成状況 30～49%)
1：まったく当てはまらない	(達成状況 0～29%)

項目	番号	具 体 的 評 価 内 容	評 価 ( % )			
			4	3	2	1
努力目標	<b>1</b>	<b>生徒指導・教育相談活動の充実と特別支援教育の推進を図り、生徒一人ひとりの生きる力を育む。</b>				
	①	気になる生徒について、自ら相談に乗ったりカウンセラーへの相談を促した。	71	19	10	0
	②	特別な支援が必要な生徒については、保護者との連絡を緊密に行った。	52	19	24	5
	③	特別な支援が必要な生徒の特性を理解し、わかりやすい教材開発に努めた。	48	38	5	9
	④	研修や月間報告を通して、生徒理解を深めるよう努めた。	71	24	0	5
	<b>2</b>	<b>ICT活用をはじめとする授業改善を推進し、学ぶ喜びを実感させ、基礎学力の定着を図る。</b>				
	①	授業において、ICT機器等（電子黒板）を活用した。	52	24	19	5
	②	生徒の学力を把握し、これを伸ばすための教材、課題を与えた。	43	38	14	5
	③	授業、総合探究、LHRを通して、進路実現の意識付けを積極的に行った。	24	52	10	14
	④	自分の授業の公開、他の教諭の授業参観を行った。	33	29	24	14
	⑤	校内外の研修に積極的に参加した。	52	33	10	5
	⑥	学習の見通しをもたせる授業構成に努めた。	38	43	0	19
	<b>3</b>	<b>学校行事、生徒会活動、部活動等を通して生徒の自己肯定感や主体性を育むとともに地域との交流を促進する。</b>				
	①	学校行事への積極的な参加意識と協調性を高めるよう努力した。	71	24	5	
	②	部活動指導において、生徒が主体的に取り組めるよう支援した。	19	48	19	14
	③	地域交流への積極的な参加意識を高めるよう努力した。	43	33	5	19
	<b>4</b>	<b>生徒一人ひとりに対する進路指導の充実を図り、進路実現100%をめざす。</b>				
	①	生徒の適性に合わせた情報を提供した。	33	57	5	5
	②	自ら学び、生徒一人ひとりに合わせた進路指導を行った。	29	52	10	9
	③	全職員による面接指導を行った。	62	19	0	19
	<b>5</b>	<b>持続可能な離島留学制度をめざし、運営組織・支援体制の改善・充実を図る。</b>				
	①	学年・分掌・保護者・HPと連携して、離島留学生に関する情報共有を行った。	71	19	10	0
	<b>6</b>	<b>本校の教育活動の様子や魅力を広く発信し、地域に親しまれる、信頼される学校をめざす。</b>				
	①	各種行事などを通して、本校の魅力を伝えようと努めた。	52	38	10	0
	<b>7</b>	<b>互いの人権感覚を育み、生徒及び教職員の健康と安全管理の徹底を図る。</b>				
	①	生徒・教職員間の心身の健康や安全に注意を払い、気になることについては主任・管理職に相談した。	67	19	5	9
	②	安全点検を定期的に行い、気になることについては情報の共有を図った。	57	33	5	5

項目	番号	具 体 的 評 価 内 容	評価 (%)			
			4	3	2	1
教 務	①	各分掌・学年、地域との連絡を密にし、校務運営の円滑化並びに学校行事の充実を推進する。	100	0	0	0
	②	授業時間の確保、クラス間及び各教科の授業時数の偏りの解消に努めることで、生徒の学習機会の保障と学力向上を図る。	80	20	0	0
	③	新学習指導要領の施行に伴い、生徒の実態に即した教務内規・教育課程・評価方法を推進し、教員の授業力向上や環境整備を図る。	40	60	0	0
	④	ホームページや学校だより、各種説明会を通して「わかりやすい広報活動」に努める。	100	0	0	0
生徒支援部	①	学級担任・教科担当者との連携を密にしながら、各学年・分掌の協力を得て情報を共有し、生徒のサポートを行う。また、生徒が心を開き相談しやすい環境づくりを目指す。	43	43	0	14
	②	全職員の共通理解に基づき、根気強い生徒支援を通して豊かな心を育み、規範意識や社会性を育み、問題行動の減少に努める。	43	14	29	14
	③	保護者・地域とも連携を図り、人権教育やいじめ未然防止教育に力を入れ、生徒が、学校生活を安心して安全に送ることができるように努める。	43	57	0	0
	④	SSTや通級指導を通して、社会性を身につけ、自分だけでなく周囲の人も大切にしながら、自己の目標達成のために学ぶためのサポートを行う。	43	43	0	14
進路指導	①	生徒一人ひとりが自己理解を深め、自らの進路を主体的に選択・実現できるように、組織的な指導を推進する。	75	25	0	0
	②	企業や学校と連携しながらキャリア教育を充実し、勤労観・職業観の育成に努める。	75	25	0	0
	③	目標に向かって計画的・継続的に学ぶ習慣を身に付けさせ、学力の向上を図る。	25	75	0	0
生徒会指導部	①	生徒自身が自主的・自発的に活動する生徒会をつくる。	25	75	0	0
	②	役員会の企画力を向上させるとともに、専門委員会の活動を活発化する。	25	75	0	0
	③	部活動の現状を考慮し、部活動規定の整備など部活動の実態に合わせた環境を整える。	25	50	25	0
	④	ボランティア活動に積極的に参加させることにより、地域を愛する心を育てる。	50	50	0	0
事務部	①	生徒や職員の安全を確保し、計画的かつ効果的な教育環境の整備を図る。	75	25	0	0
	②	省エネ・省資源化を図りながら、効果的な予算執行に努める。	75	25	0	0
	③	前例にとらわれず適正かつ迅速な事務処理に努める。	100	0	0	0
1 学年	①	生徒一人ひとりが学校生活へ適応し、自己理解を深め、様々な事に挑戦し、自らの進路を切り開けるよう支援する。	100	0	0	0
	②	豊かな人間関係作りができるよう、ホームルーム活動や学年間の交流を密にし、思いやりの心と仲間意識を育てる。	60	40	0	0
	③	基本的な生活習慣および学習習慣を身に付けさせ、規律ある態度を育ませる。	40	60	0	0
2 学年	①	中堅学年としての自覚と責任を持たせ、規律と節度のある学校生活を送らせる。	25	75	0	0
	②	生徒一人ひとりを学校行事や部活動に主体的に取り組みせ、自己肯定感を高めさせる。	25	50	25	0
	③	家庭での学習習慣を確立させ、基礎学力の充実を図り、進路目標の具体化に努めさせる。	24	38	38	0
3 学年	①	最上級生としての自覚と責任を持たせ、規律と節度を守る誠実な人間性を育てる。	17	66	17	0
	②	良好な人間関係を築かせ、学校行事や部活動に積極的・主体的に取り組みせる。	66	34	0	0
	③	基礎学力・礼儀作法を身に付け、進路実現に向けて継続的な努力を行わせる。	66	34	0	0